

## コミュニティと問題解決型の戦術による無秩序の取り締まりは、犯罪の減少と関連しているが、積極的な秩序維持のアプローチの結果はそれとは異なる



Image: West Midlands Police CC BY-SA 2.0, cropped

無秩序の取り締まりが実施された場合、全体的な犯罪の減少に加えて、器物損壊、凶悪犯罪、無秩序・薬物犯罪の減少が見られる。

### このレビューの目的は何か？

このキャンベルのシステマティック・レビューは、無秩序の取り締まりの介入が犯罪に及ぼす影響を検証している。レビューでは、9件の無作為化比較試験を含む28件の質の高い研究(30件の独立試験)からのエビデンスを要約している。研究のほとんどはアメリカからのものである。

無秩序な状態は、より深刻な犯罪、犯罪の恐怖、および近隣地域の衰退の前兆と見られている。無秩序の取り締まりは犯罪の減少と関連しているが、コミュニティと問題解決型の戦術が使用されている場合のみである。積極的で秩序維持に基づいたアプローチは効果的ではない。

### このレビューの目的は何か？

社会的および物理的な無秩序な状態を取り締まることは、割れ窓理論アプローチに根ざしている。無秩序は、より深刻な犯罪、犯罪への恐怖、およびコミュニティの衰退への前駆体である。無秩序への対処は、特にアメリカにおいて、取り締まりの中心となっている。しかし、犯罪をコントロールする上での無秩序の取り締まり戦略の有効性に対する評価は、相反する結果をもたらしている。

無秩序な状態を取り締まることは、主に2つの戦略に分けることができる。(1)秩序維持やゼロ・トレランス・ポリシング(警察は厳格な取り締まりによって秩序を維持しようとする)と、(2)コミュニティ・ポリシングや問題解決型のポリシング(警察はコミュニティのメンバーと協力したり、特定の問題に対処したりすることによって秩序を作り、犯罪を減らそうとする)である。

このレビューでは、無秩序の取り締まり戦略が、従来の法執行行動(例:定期的なパトロール)と比較して、物的犯罪、暴力犯罪、無秩序・薬物犯罪などの犯罪発生率に及ぼす影響を検討した。

このレビューでは、特定の場所での無秩序の取り締まり活動が、犯罪の変位(すなわち、犯罪がすぐ間近になる)や犯罪管理の利益の拡散(すなわち、周辺地域での犯罪の減少)につながるかどうかについても検討した。

### このレビューにはどのような研究が含まれているか？

このレビューには、合計28件の無秩序の取り締まりに関する研究(30件の独立したテストを実施したもの)が含まれている。これらの研究は1985年から2012年までの期間にわたっており、ほとんどアメリカで実施されたものである。すべての研究は介入の影響を評価するために質の高いデザインを用いており、9件は無作為化比較試験であった。大都市(人口50万人以上)では12の試験が実施され、中規模都市(人口20万~50万人)では9つの試験が実施され、残りの9つの試験は小規模都市で実施された。



Image: West Midlands Police CC BY-SA 2.0, cropped

### このレビューはどれぐらい最新のものか？

このレビューには2013年以前に完了した研究が含まれている。

### キャンベル共同研究とは何か？

キャンベル共同計画とは、系統的レビューを公表する、国際的、任意的、非営利的な研究ネットワークである。本組織は、社会科学や行動科学の領域における取り組みのエビデンスを要約し、その質を評価している。本組織の目的は、人々のより良い選択とより良い政策決定を支援することである。

### この要約について

この要約は、by Anthony A. Braga, Brandon C. Welsh, Cory Schnellらによるキャンベルの系統的レビュー「犯罪を減らすための無秩序の取り締まり」に基づいている。

この要約の作成のためのアメリカ研究機関からの財政支援に感謝の意を表す。



AMERICAN INSTITUTES FOR RESEARCH®

すべてのテストは、小規模な場所(犯罪ホットスポットや問題のある建物など)、小規模な警察が定義した地域(パトロール担当区域など)、近隣地域や高速道路の一部区間、大規模な警察が定義した地域(管区や分署など)など、特定の地理的設定で実施された。

### このレビューの主な知見は何か？

無秩序な状態に焦点を当てた取り締まりの介入は犯罪を減らすか？

その通りである。無秩序な状態に焦点を当てた取り締まり介入が実施された場合、犯罪の全体的な減少に加えて、物的犯罪、凶悪犯罪、無秩序/薬物犯罪の減少が見られる。

無秩序に焦点を当てた取り締まりの介入は、犯罪を遠ざけたり、犯罪取締りの効果を周辺地域に拡散させたりすることになるのか？

無秩序の取り締まりの介入は、対象となる場所の周辺地域への犯罪取締りの利益の拡散と関連している。この結論は、変位または拡散効果を測定した15件のテストに基づいている。

無秩序の取り締まりに用いられる2つの主な戦略のうち、1つは他の戦略よりも効果的か？

コミュニティと問題解決を通じた無秩序の取り締まりは、犯罪の減少と関連している。積極的で秩序維持的なアプローチは効果的ではない。

### このレビューの結果は何を意味するのか？

無秩序な状態に対処するために警察が使用する戦略の種類は、犯罪を制御する上で重要であるように思われ、これは、警察と地域社会の関係、司法、および犯罪防止のための重要な意味合いを保持している。犯罪を防止するためにこれらの戦略の能力を最大化するプログラム上の重要な要素を理解するためには、さらなる研究が必要である。